

埼玉親善大使レポート

Enero de 2018

小林 幹

1月になり、メキシコシティーは少し暖かくなったような気がします。日本の冬とは違い、寒さはそこまで厳しくないものの、家に暖房器具がないのでしっかり温まることができないのが辛いです。そして、無事にメキシコで新年を迎えられ、海外での年越しは初めてでとても興味深かったので、今回はメキシコの年越しと、新年なので5ヶ月を振り返って書きたいと思います。

メキシコでの年越し

メキシコでの年越しは、家族と過ごし、夜12時になるとラジオで鐘の音が流れるのでその音とともにぶどうを12個食べます。これは1年(12ヶ月)分の幸せを祈って願いを込めながら1秒に1個食べますが、とても間に合いません。

そして、紙に目標を 12 個書いてそれを達成できるように燃やし、最後にスーツケースを持って家の周りを歩きました。これは今年もたくさん旅行できるようにという願いを込めてだそうです。海外での年越しは初めてだったのでとても興味深く楽しかったです。

5 ヶ月を振り返って

メキシコに留学し始めてからもう 5 ヶ月もたちました。最初の 3 ヶ月までは慣れないこともあり、全てが新鮮で長く感じました。そして 4 ヶ月目から 5 ヶ月目の 1 ヶ月は旅行にあて、メキシコの土地ごとの文化、料理、街並みの違い等を目で見て肌で感じて来ました。ここ 5 ヶ月で日本では経験できないことをたくさん経験し、学べた気がします。また、メキシコに来る前までは、1 年間海外で生活していれば語学力は伸びると思っていました。しかし、ただ生活しているだけではやはり限界があります。自分から積極的に会話しようと

メキシコ人に話しかけたり、自分で話す機会を生み出すのが大事だなと感じました。メキシコ人はとても優しく、外国人が間違っただスペイン語を話していてもバカにして来たりしませんし、優しく教えてくれます。また、日本語を勉強しているメキシコ人も多いのでお互いに助け合うこともできます。

これからメキシコに留学される方には、ぜひ間違いを恐れずたくさん話して欲しいと思います。私自身が5ヶ月経って後悔している部分でもあるので、残りの半年はもっと積極的に行きたいと思います。